

令和6年度 第1回 尼崎市いじめ問題対策審議会 議事要旨

日 時 令和6年5月8日(水) 19時00分～21時00分

場 所 教育・障害福祉センター3F 教育委員会室

出席者 審議委員5人

会議要旨

1 開会

2 議事

〈再発防止策に関する評価及び意見について〉

(1) 令和5年度の再発防止策の評価及び意見について

(2) 令和6年度の再発防止策及び実施予定について

〈委員F〉

いじめに関するアンケート調査の問1で、これまであったかどうかで解消できるのですが、今もあるかどうかと言うのが分からないですけども、あえて相手を特定しないということか。

〈委員F〉

たとえば今もあるのであれば◎にしたら、今も悩んでいるのかとぼっと解るのかなと思います。

〈委員C〉

アンケートはやっぱり入口なので当然ながらアンケートに○が付いていると聞き取りをしないといけませんよね。そのなかで今もかなり繰り返しあるかどうかの判断はできる。そのように活用してもらったら、とりあえずちょっと書いてもらえるだけでもきっかけになると思う。だから書く項目をちょっと重くすると気軽に付けてくれない可能性がある。あとそうなったら聞き取りが難しいかもしれないですね。書いたことより事を小さくしてしまっているからかね。

〈委員D〉

学校間格差のデータがあるが26.5倍についてどう分析されているのか。どういう見立てですか。格差はどこに要因があるんですか。格差は何なのか分析みたいのはされていますか。

〈委員D〉

それがたとえばですね、管理職の先生とか個々の感度というか、というところなのか環境的要因、たとえばすごくやらなければならないことが多いといわれているその状況の中で、余裕がないという環境的要因なかで、そういう学校間の差みたいなものがもしかしてあったりとか、そのへんはどうなのですか。やらないといけないことが沢山あるじゃないですか、ちょっと後でこれ問うてみようかなと思ったのは例えば研修があるでしょ、LGBTとか多文化共生、これ毎年やっているじゃないですか、これ本当に毎年いりますかと少し思ってしまうのですよね。そういうことの業務負担というか、やるにこしたことないと思うのですが、結局これをする事で先生がたの業務負担が増えて余裕がなくなって子供がみれないとなってくるのは、ということがもしあるとするならば、それはやっぱり生徒のことに集中しないといけないんじゃないかなとちょっと思ったりもするんですよね。だから本来はいろんなものが

学校はあるから、でもどんどん余裕を奪ってしまって、いま他市なんかでも働き方改革だといって、働き方改革だと結局子供に全部割がいてしまう、子供に諸悪がいてしまってる、みたいなことやってる市があったりするじゃないですか。その部分でやっぱり絶対に譲らない、いじめであるとか例えば体罰の問題とかいうところの部分でここだけは絶対に譲れませんと、あとLGBTQとかそのへんの認知度が広がってきてるので人権に関わってくるような関りをする先生は、あんまりいないんじゃないかと思ったりするんですよ。そうするとそういった負担を減らしてみても生徒に集中をかけてみるもいいのかないと、ちょっと僕は思ったりするんですね。じゃないと持たないですか、それが環境的な要因ですね。資質の部分については研修でもやってもらって、頑張ってくださいねって、仕方がないと思うんですけどそういうところではどうなんでしょう。

〈委員 D〉

僕も現場にいたので、感度って先生方持つてると思うんですよ、この子ちょっとなんか、「ん？」って思うこの感度って僕だいたい当たってると思っていて、それすら奪ってしまうぐらいその業務量がきたら余裕がなくなってくると当然そんなことみれないし、まったく余裕がない中でそのいじめを発見しなさいとか、たとえば生活課題がある子の虐待されてる子を見つけましょうとか、しんどくなると思うんでやっぱりある程度の余裕がないと子供のちょっと微妙なところ、「ん？」ってところの部分にキャッチできないというか、ゲーム感覚なんですけどね、そんなのはどうなんだろうとちょっと思ったんで、質問させていただきました。

〈委員 C〉

小学校のデータですけどもね、やっぱりあの少ない2つは全国的に見てもかなり少ないので、これはちょっと多分見れてないんだろーと思いますね、そのへんと全国的に少ない校、たぶんなん校かがあるかと思うんですけどそのへんはちょっと事情を確認しないといけないじゃないかと思うんですね。仕事量が26倍違うはずがないのでどう考えても、やっぱり全国平均よりか少ない学校はちょっとどうかなと思いますね。見たら中学校の方が低い学校でも全国平均並みですよ、だからなぜか中学校のほうが差は少ないですね意外とね。上が小さいから差が付くのはあるんですけども、中学校も下見てもそんなに極端に少なくはないから、全国平均くらいですね。だから中学校の方は、それほど差はなくいけるのは規模の違いですかね。

それからあの業務量で言ったらむしろこの認知した後の継続指導ができなくなるんじゃないかというところがむしろ心配ですね。いじめが見つかったのだけでも、あとあんまりちゃんと指導できなくてこじれてしまったということのほうがむしろ心配なので、いじめの解消するのが3ヶ月間いる、少なくとも3ヶ月以上ですよ、ということは見方によっては3ヶ月間継続した指導しないとイケないので、それがやはり余裕があるかというところはちょっと気にはなるんですけども、だからそっちのほうが学校業務との関係かなとは思うんですけども。

〈委員 A〉

その他、何かございますでしょうか。では以上で議事を終わらせていただきます。ありがとうございました。進行を事務局にお返しいたします。

3 閉会